

1	Junior Seminar B-I	前期
【講師】	萱嶋 崇	
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	
<p>英文法を習った時、「何故そうしなくてはならないのか」と思ったことはありませんか? "He plays the guitar."の疑問文は "Does he play the guitar." ですが、"does" はどこから来たのか、と思ったことは? 本講義では、英語学の基礎を概観しつつ、文法の「なぜ」を理論的に追究します。</p> <p>※テキスト『英語の主要構文』(2,800円+税)(中村捷、金子義明/編、研究社) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
<p>英語の代名詞に関するルールや、時制解釈にまつわる不思議など、具体的な構文を理論的に考察していきます。必要になる専門的な知識は、都度解説致します。</p>		
【 受 講 条 件 】		
ある程度の文法知識を前提とします。		
【 選 考 方 法 】		
抽選により決定		

3	中国語入門B-a	前期 週2回
【講師】	山田 俊	
【日時】	4月11日～・毎週木・金曜日(週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級/一般教養	
<p>中国語(普通話)の初歩をゼロから学びます。</p> <p>※教科書『聞ける、話せる中国語』(2,400円+税)(筒井紀美・王紅艶/編、朝日出版社) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
4月に発音の基礎を学び、5月以降の半期で初級中国語の主要な事柄を学びます。		
【 受 講 条 件 】		
木・金の週2回を連続して出られる方。		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(100文字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		

2	英語V(c)	前期
【講師】	李 世恩	
【日時】	4月12日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人数】	4名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	初級	
<p>この授業では様々な分野の英文を読みながら、受講生が将来必要とされる高度な語彙力及び読解力を身につけ、リーディングを通し幅広い視点から物事を考える能力を養います。基本的な文法の理解と英語を読む力が必要です。</p> <p>※テキストの購入が必要です。受講手続・説明会にてご案内いたします。</p>		
【 授 業 計 画 】		
<p>受講生は英語での読解力の向上を目標とします。定められたテキストを読み、アクティビティーやグループ、ペアリーディングを行います。授業を進めていく中で、課題、予習、復習が必要となります。</p>		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(200字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。		

4	中国語入門B-b	前期 週2回
【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	4月11日～・毎週木・金曜日(週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級	
<p>初めて中国語を学ぶ人のための講義です。発音・表記について学んだあと、簡単な中国語が書ける・読める・話せる・聴けることを目指します。</p> <p>※テキスト『初級 中国語でおもてなし 改訂版』(2,400円+税)(金星堂) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。</p>		
【 授 業 計 画 】		
教科書を使用して、授業を進めます。		
【 選 考 方 法 】		
受講希望の理由書(100文字程度)により決定		
【 オンラインツールについて 】		
Microsoft Teamsを使用する場合があります。		

5 日本語史I 前期

【講師】	米谷 隆史
【日時】	4月8日～・毎週月曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	

日本語の語彙の歴史について上代以降の文献資料から考えていきます。一つ一つの語の意味や用法の歴史にも言及しますが、それらの総体としての日本語の語彙の歴史を記述するための方策と問題点を学ぶことを重視します。

※テキスト『国語史を学ぶ人のために』(2,900円+税)(木田章義/編、世界思想社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

次のようなテーマを扱います。ただし、受講生の理解度や関心、及び研究の動向により、内容や順序を若干変更することがあります。

- | | |
|-------------|---------------|
| ①語彙研究の位置づけ | ②語種をめぐる諸問題 |
| ③和語の語形と語構成 | ④文体と語彙 |
| ⑤外国資料に見る日本語 | ⑥文献に見える方言語彙 他 |

【受講条件】

本学の「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」、「日本文法Ⅰ・Ⅱ」「現代日本語の分析」、各時代の文学史の内容を理解していることを受講の前提とします。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

6 方言学基礎論 前期

【講師】	小川 晋史
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/専門

日本各地の方言を取り上げて、その特徴について解説することに多くの時間を割きます。分野としては音声・音韻から形態論や語用論まで広い範囲にわたります。前半は方言の社会的地位など、社会言語学の内容も含まれます。

※テキスト『方言学入門』(1,800円+税)(木部暢子ほか、三省堂)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

- ・方言の違いを知る
- ・ことばの仕組みから見る方言
- ・方言の消滅と誕生
- ・方言を調べる
- ・方言調査の実際
- ・方言の現在
- ・まとめ

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

7 文献学基礎論 前期

【講師】	鈴木 元
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	3名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

文学研究の基礎資料となる文献資料について、古典テキストを中心に、その取り扱いについていかに常識が通用しないのか、そんな話題を中心にお話しします。また、古典テキストの理解の前提となる書誌学(書物の形態学)についてもふれる予定です。また、くずし字の解読練習を含みます。

【授業計画】

1. 「文学」とは何か
2. 文献学の発生と近代「国文学」の登場
3. 書誌学の基礎
4. 「異本」の発生
5. いかにテキストは作られるか
6. 近代文学のテキストの問題

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

8 近代日本の歩み 前期

【講師】	大島 明秀
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

歴史を学ぶということは、過去の事例を通じて、現在および未来をどのように構築していくかを考える営為である。日本がいわゆる江戸期の体制から脱却し、日本型オリエンタリズムを獲得しながら「脱亜入欧」を目指した近代(明治以降)の歩みの理解を目標とする一方で、現在の東アジアをめぐる問題の歴史的な根深さを捉え、解決へ取り組む手がかりを模索することも課題としたい。

【授業計画】

「言説」という哲学的概念を理解しながら、前半では、中世末期に始まる日欧交流の端緒、近世日本の国際関係、東西交流の端緒、大航海時代、西洋から見たアジア像の実態と意義を理解する。後半では、かかる前近代の国際的状況を踏まえた上で、日本の近代化について様々な角度から検証する。

【選考方法】

受講希望の理由書(500字)により決定

9 近代文化研究 前期

【講師】 五島 慶一
 【日時】 4月8日～・毎週月曜日
 4時限目 (14:30～16:00)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

後期開講科目である「近代文学史」の続編です。そこで学んだ知識を前提に、それ以後の時代(大正～昭和期)や日本近代文学に関する、より専門的な事項を取り扱います。そのため、**応募は過去に本講義担当者の「近代文学史」を受講したことを条件とします。初めてのの方は、まずそちらを受講してください。**

【授業計画】

基本的にある項目・作家・事項などに関して、それぞれ1～2回ずつの講義を行い、最終的にそれらを通じて、文学史的流れの把握を目指します。各回プリントを配布します。

【受講条件】

過去に本講義担当者の「近代文学史」を受講したことがあること。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定
 ※5～6月に一部、休講(振替)となる日があります。
 初回及びその後の授業内で告知しますので、注意してください。

10 地域文化研究Ⅱ 前期

【講師】 木崎 康弘
 【日時】 4月11日～・毎週木曜日
 5時限目 (16:10～17:40)
 【募集人数】 3名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

考古学は、遺跡や遺物などを通して、過去の人びとの暮らしを明らかにする歴史学で、文字が無い時代や僅かだった時代で、最も威力を発揮する。本講義では、そんな考古学研究から、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、古代と時代を追って、肥後の原史世界(原始・古代の世界)を通観したい。本授業を通して、地域の歴史や伝統文化は素晴らしいなど、自らの郷土に目を向ける切っ掛けの一つにしてもらいたい。

【授業計画】

①「肥後」域の考古学②日本最古の石器文化と東アジアの旧石器時代③大型狩猟具の出現と東アジアの旧石器時代④貝塚と土偶と日本列島の縄文時代⑤山の神信仰の起源と縄文文化⑥肥後の縄文文化に見る原始芸術論⑦鬼界火山の大噴火とその影響⑧私の「狗奴国」序章論⑨私の「狗奴国」論⑩装飾古墳の世界⑪環八代海沿岸地域の装飾古墳⑫菊池川流域、装飾古墳の世界⑬肥後の装飾古墳の展開と磐井の乱、⑭古代山城と古代東アジアの政治情勢⑮「鞠智城選地」論

【選考方法】

抽選により決定

11 エネルギーと社会(九州電力協力講座) 前期

【講師】 古江 敏彦
 【日時】 4月10日～・毎週水曜日
 3時限目 (12:50～14:20)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

本講義では、「現代社会におけるエネルギー問題は何か?」をテーマとし、電気エネルギーの視点から「安定確保」、「環境適合性」、「経済合理性」、「安全・安心」等の諸問題についてアプローチします。また、電気エネルギーについて発生の仕組みから消費までを学び、生活に欠かせない電気への理解を深めるとともに電気事業の動向についても説明します。

【授業計画】

第1回: エネルギーの中の電気と電気事業
 第2回: 電気料金とエネルギー問題(グループ討議)
 第3回: 電気の発生から消費まで
 第4回: 再生可能エネルギーの現状と課題
 第5回: 現代社会におけるエネルギー問題
 第6回: 日本のエネルギーミックス①(グループ討議)
 第7回: 地球温暖化問題への対応①
 第8回: 電力の安定供給に向けた取組み
 第9回: 地球温暖化問題への対応②
 第10回: 日本のエネルギーミックス②(グループ討議)
 第11回: 原子力発電の仕組みと現状
 (第12回: 設備見学[川内原子力発電所(予定)]※受講できません)
 第13回: 日本のエネルギー政策
 第14回: 今後の日本のエネルギー政策(グループ討議)
 第15回: 講義のまとめ
 ※第12回の設備見学は、受講できません。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

12 建築環境工学Ⅰ 前期

【講師】 辻原 万規彦
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 数名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの方方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

※テキスト『図説 やさしい建築環境(第4版2刷 2024年3月発行(「第4版1刷 2022年3月発行」でも可))』(2,800円+税)(今村仁美・田中美都、学芸出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

講義の内容は、建物内外での熱の移動、断熱性能、結露の仕組み、暑さ・寒さの感じ方、太陽の動きと日影、日射の利用などです。

【受講条件】

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用します。

13 住まいと地域環境 前期

【講師】	柴田、高橋、田中、李
【日時】	4月8日～・毎週月曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

現代における住まいと地域環境の基本的問題を正しく理解し、実例を紹介しながら、居住環境創造に役立つ要点を多面的に講義し、住まいと地域環境について考えていく。

【授業計画】

第1回～第4回
住居と生活の歴史について / 都市の町割と住居について / 集まって住む形について(日本編・世界編)
第5回～第8回
「住まいと地域環境Ⅰ」について / 「住まいと地域環境Ⅱ」について / 「人間-環境系のデザイン」について
第9回～第11回
戦後から現在に至る我が国のエネルギー政策と環境問題、将来の課題について
第12回～第15回
構造設計の目標、荷重・外力、構造システムについて / 構造種類、構造材料について / 地震被害、耐震構造、制振構造、免震構造について

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

14 大気環境学 前期

【講師】	張 代洲
【日時】	4月11日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

気象学、大気汚染、気候変動などに関する基礎知識と現在の理解について幅広く解説します。

【授業計画】

1. 大気の歴史・構造・組成
2. 大気の流れ
3. 気象の力学1
4. 気象の力学2
5. 大気中の汚染物質
6. 大気中の浮遊粒子
7. 対流圏化学
8. 成層圏化学
9. 大気中の拡散
10. 雲の物理学
11. 雲の化学
12. 大気中の放射
13. 大気と海洋
14. 気候: 現在までの記録と理解
15. これからの気候変動とまとめ

【選考方法】

抽選により決定

15 食資源開発学 前期

【講師】	松崎 弘美
【日時】	4月10日～・毎週水曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

食品は単に栄養素を供給するものではなく、最近では保健機能(健康機能)が求められる。そこで、健康を支える食資源、健康を促進し保健機能を持つ新規機能性物質(特定保健用食品・機能性表示食品)、環境にやさしい農業生産のあり方、新しいバイオ技術(遺伝子組換え、細胞融合、ゲノム編集など)について紹介・説明・解説する。

【授業計画】

新たな食資源の開発(植物・動物)、新規機能性物質と保健機能食品、腸内細菌叢と健康を守る乳酸菌、食料生産と環境(環境保全型農業と新しい農業技術)、食資源としてのバイオテクノロジー、食とバイオサイエンス(バイオテクノロジー技術の紹介)などを講義する。

【選考方法】

抽選により決定

16 静定構造力学 前期

【講師】	李 麗
【日時】	4月12日～・毎週金曜日 4時限目(14:30～16:00)
【募集人数】	3名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本科目では、建築構造力学の基本的事項を学ぶ。力(荷重)、反力、応力を理解し、静定構造物(静定梁・ラーメン構造・トラス構造)の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面諸係数、応力度の求め方を学習する。

【授業計画】

- ・力の定義・種類・合力・分力・釣合
- ・構造物の種類および構造物の安定・不安定、静定・不静定の判定
- ・断面の諸係数、応力度・ひずみ度・弾性座屈荷重など
- ・各種静定梁・各種静定ラーメン・静定トラスの反力・応力の求め方、応力図の描き方

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

17 社会倫理 前期

【講師】 江崎 一郎
 【日時】 4月10日～・毎週水曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 20名程度 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 一般教養

テーマ「私たちはいかに生きるべきか」
 私たちは一体、何のために生きているのか。生きる目的は何なのか。人生の意義はどこにあるのか。私たちにとって、これ以上に重要なことはありません。すべては、ここから始まります。これなしには、人生を生き抜くことはできません。多くの人々が、最期を迎えるに際し、後悔します、あれをやるべきであったと、あるいは何のために生まれてきたのかと。私たちは、何をなすべきでしょうか。それは、自らの人生を正面から受け止めることから始まります。共に考えましょう。

※テキスト『増補新装版・共生の作法－会話としての正義－』(3,000円＋税) (井上達夫/著、勁草書房)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

上記テキストを読み通すことで、私たちはいかに生きるべきかを考えます。講義では、正義とは何か、エゴイズムとは何か、愛とは何か、なども取り上げる予定です。よりよい人生にするために、共に学びましょう。

【選考方法】

受講希望の理由書 (50文字程度) により決定

19 憲法 I 前期

【講師】 佐藤 雄一郎
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 4時限目 (14:30～16:00)
 【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

日本国憲法が保障する権利・自由について、裁判所がどのような判断を下しているか、という点について、詳細に説明し、わが国の人権保障の現状と問題点を理解できるようにする講義である。

【授業計画】

身体的自由、思想・良心の自由、信教の自由と政教分離、表現の自由①～④、経済的自由①②、社会権・参政権、法の下での平等、幸福追求権に関する判例について、詳細に分析した上で説明していく。

【選考方法】

受講希望の理由書 (400字程度) により決定

18 公共政策論 I 前期

【講師】 井寺 美穂
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

本科目では、公共政策のなかでも、特に「政府政策」(＝公共的な諸問題を解決するために、様々なアクターが関与しながら策定される中央および地方の活動案)の形成過程に焦点をあてます。政府政策が法律や条例として形成されるプロセスに着目し、アクター間の相互作用や諸制度などについて学びます。

【授業計画】

政府政策の分析視角となりうる理論的枠組みを学習した上で(第2回～第7回)、政府政策の形成過程を「省庁」、「政府」、「与党」、「国会」という観点から概観します。

【選考方法】

抽選により決定

20 都市計画 前期

【講師】 鄭 一止
 【日時】 4月8日～・毎週月曜日
 3時限目 (12:50～14:20)
 【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

都市計画史、都市計画制度の変遷と現状などについて説明します。熊本をはじめ、なるべく地域での例を具体的に取り上げるつもりではあります。教科書として『初めて学ぶ 都市計画 (第二版)』を使用していますので、一度中身を見ると、授業内容が少しは伝わるかもしれません。

※テキスト『みんなの都市計画』(3,000円＋税) (脇田祥尚著、理工図書)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

座学がほとんどです。60-80分座学、残りの時間でコメントに対する振り返りをします。都市の定義、区域区分や用途地域など基本的な都市計画制度、コンパクトシティや都市再生という最近の方向性などについて紹介します。※授業計画は予定のため、変更になる場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【オンラインツールについて】

Eメールでのやりとりや Microsoft Teams を使用する場合があります。

21 比較都市文化論 前期

【講師】 鄭 一止

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 初級

参加型ワークショップ式です。自分のまちに楽しくかかわっていく際のきっかけ、方法などを一緒に考えていきます。自分の好きな分野から深堀もしくは横つながりしていく予定です。

※テキスト『はじめてのまちづくり学』(2,700円+税)
(山崎義人、清野隆、柏崎梢、野田満/著、学芸出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

主にグループディスカッションで進めていきます。まず、自分の趣味や普段の生活をシェアしてもらった上で、まちづくりにつながっていくヒント(場所、人、取り組みなど)をフィードバックしながら、最終的にはまちづくりの事業計画をつくりあげ、みんなの前でシェアすることを最終ゴールとしています。

※授業計画は予定のため、変更になる場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

EメールでのやりとりやMicrosoft Teamsを使用する場合があります。

22 現代の国際関係 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月9日～・毎週火曜日
3時限目(14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

戦後日本をめぐる国際関係の変動を食料、エネルギー、金融等身近な話題から、近い将来に予測される多文化社会の到来、といった問題にまで広げて講義します。

【授業計画】

プラザ合意、バブル経済とその崩壊/エネルギー小国日本/多文化共生社会/日本の国際貢献/フードロス、食をめぐる国際関係等。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

23 国際関係論 前期

【講師】 高埜 健

【日時】 4月10日～・毎週水曜日
5時限目(16:10～17:40)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

資料はほぼ全て英語のものを使用します(留学生対応も含めて)。講義内容は、国際関係理論に関する詳細な説明です。一部、ウクライナやパレスチナ情勢等時事的な問題についても解説する予定です。

【授業計画】

ウクライナ情勢～パレスチナ情勢/戦争はなぜなくなるのか/トウキディデスの罠/現実主義/自由主義/コンストラクティヴィズム/中江兆民『三酔人経綸問答』他。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

【注意事項】

一部、英語で講義を行います。

24 経営分析論 前期

【講師】 望月 信幸

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、ファイブフォース分析やSWOT分析、財務諸表などを通じた企業の経営分析について講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析やSWOT分析などを用いて学習する。

【授業計画】

- ・財務諸表を用いた分析
(安定性・収益性・成長性)
- ・環境分析
(ファイブフォース分析、SWOT分析)

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。

25 財務会計 I 前期

【講師】 小谷 学
 【日時】 4月9日～・毎週火曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円
 【講義内容】 専門

この講義では、利益計算を行うために企業会計で採用されている基本的な考え方について、具体的な簿記の手続きと結び付けながら学習する。あわせて、簿記の手続きに従って報告される情報が企業の利害関係者に対してどのような影響を与えているか、という点についても考察する。

※テキスト『はじめて出会う会計学 [第3版]』(2,100円+税)(川本淳ほか/著、有斐閣)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

- ・会計の目的
- ・会計基準と会計制度
- ・複式簿記
- ・収支の期間配分
- ・利益の認識と測定
- ・資産・負債の認識・測定
- ・原価計算と管理会計、まとめ

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

26 ドイツ語発展 I・II 通年

【講師】 吉田 李佳
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 中級

初級ドイツ語の能力を有することを前提に、ドイツ語に慣れ親しみ、ある程度コミュニケーションができるようになることを目指して、会話中心の授業を行う。

※テキスト『Spitze!2』(2,700円+税) (新倉真矢子ほか/著、朝日出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

朝日出版社の『Spitze!2』をテキストとして、通年で12課全体を終えるペースで授業を進める。

【選考方法】

抽選により決定

27 中国語発展 I・II-b 通年

【講師】 岡村 真寿美
 【日時】 4月12日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 準中級

中国語を1年程度学んだ人を対象とします。一応勉強したけれど、まだ十分使えるようになっていないのがこの時期なので、初級で学んだことを復習しつつ、さらにレベルを上げることを目指します。

※テキスト『音読&会話で深める中国語 中級アイテム15』(2,500円+税) (朝日出版社)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

教科書を使用して、授業を進めます。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。

28 韓国語入門A I・II - c 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月11日～・毎週木曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字であるハングルの読み書きや簡単な文法について解説します。

※テキスト『マル韓国語』(2,200円+税)(韓必南/全恵子、朝日出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

4月、5月はハングルの読み書きの練習をします。6月からは簡単な短文を読んだり、書いたりする練習をします。予習、復習が必要です。家で学習して解らない点を授業で解るようにするつもりで臨んでください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【注意事項】

講座番号: 29『韓国語入門A I・II - b』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

29 韓国語入門A I・II - b 通年

【講師】 矢野 初美

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人数】 3名まで 【受講料】 10,000円

【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字であるハングルの読み書きや簡単な文法について解説します。

※テキスト『マル韓国語』(2,200円+税)(韓必南/全恵子、朝日出版社)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【授業計画】

4月、5月はハングルの読み書きの練習をします。6月からは簡単な短文を読んだり、書いたりする練習をします。予習、復習が必要です。家で学習して解らない点を授業で解るようにするつもりで臨んでください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

【注意事項】

講座番号: 28『韓国語入門A I・II - c』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

30 日中比較文学 I・II 通年

【講師】 項 青

【日時】 4月12日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 5名 【受講料】 10,000円

【講義内容】 専門

中国・日本・朝鮮半島・東南アジア諸国などアジア漢字圏の天人女房の話を紹介しつつ、世界各地の羽衣伝説も取り上げます。中国儒教の影響を受け、親孝行の思想を取り入れた東アジアの伝説と、インド仏教の影響を受け、鳥が女性に変身する東南アジアの伝説の異同を考察します。古文や漢文を読むことが多いため、ある程度の知識が求められます。

【授業計画】

世界各地の羽衣伝説を読む
①日本古代の羽衣伝説
②中国古代の羽衣伝説
③朝鮮半島の羽衣伝説
④東南アジアの羽衣伝説
⑤インドの羽衣伝説

【選考方法】

受講希望の理由書(300文字程度)により決定